



令和 6 年 4 月 24 日

デジタルで患者さんをサポート！ ～岡山大学病院の 3D マップに歯学部棟追加でさらに便利に～

◆発表のポイント

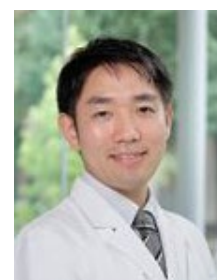
- ・ 院内の複雑な構造を 3 次元仮想空間で再現したマップに歯科学部棟が追加。
- ・ 医科外来棟の 3 階も追加され、医科 3 階～歯科 3 階へのアクセスルートも追加。
- ・ リニューアルされた放射線治療施設も掲載されます。

これまで、岡山大学病院の院内の案内マップは平面図によるさまざまなバリエーションで提供してきましたが、病院の規模が大きく、部署や検査室も多岐にわたるため、患者さんが院内で道に迷い、スムーズに目的部署まで移動しにくい状況がありました。また、車いす対応トイレや、自動販売機などの場所の検索も行いにくく、患者さんからは「不便を感じる」とのご意見もいただいていた。

これらの問題を解決するため、岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢准教授（整形外科）は、リアルな写真や動画の画像を用いて 3 次元仮想空間を再現したマップを構築し、2023 年 5 月から患者さんへの公開を開始しました。しかし、医科領域の外来診療棟、中央診療棟、総合診療棟の 1 階～2 階部分のマップのみであり、問い合わせの多い歯科診療科（歯学部棟）のデータが未整備でしたが、このたび、医科外来棟の 3 階と、歯学部棟の 1～3 階部分のマップを新たに作成し提供を開始します。

◆研究者からのひとこと

大学病院のような巨大空間を有する施設は構造が複雑で情報量も多く、紙やボード掲示などのアナログ媒体では情報の整理・表示に限界がありました。そこで、デジタル技術を用いることで、豊富な情報量を見やすく整理できるマップの提供を進めて参りましたが、ついに歯学部棟の提供を開始することが可能になります。患者さんにとって、よりわかりやすく、ストレスのない病院受診となるよう、今後も情報の整理を進めていきます。



長谷井准教授

■発表内容

デジタル技術の医療分野への活用は、非常に重要な分野であり、診療だけでなく、患者サービスにおいても DX 化が推進されてきています。岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢准教授は、これまでの岡山大学病院のアナログ媒体の案内マップでは、病院全体の情報を 1 つに集約化できないため、多数のマップが散在しており、わかりにくい問題を解決しようと、2023 年 5 月から医科領域の外来診療棟、中央診療棟、総合診療棟の 1 階～2 階部分について、3D マップを作成・公開してきました。しかしながら、歯科診療科については未整備であ



PRESS RELEASE

り、同じく歯学部棟に存在している、精神科神経科、形成外科、眼科などについても場所の問い合わせが多くあり課題となっていました。

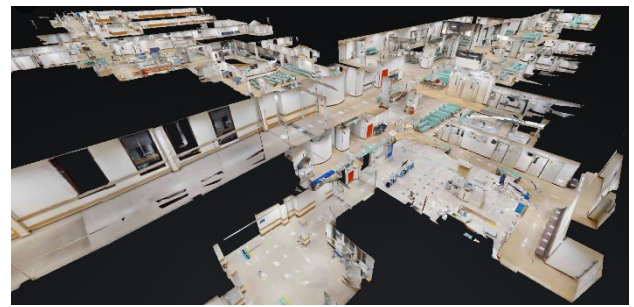
今回、長谷井准教授は歯学部棟 1～3 階部分と、中央診療棟にリニューアル設置された放射線療法室について写真と動画を撮影し、これらの空間をバーチャル化して既存の 3D マップと統合しました。

3D マップはこれまでに、2500 人以上の方に利用していただき、徐々に利用者も増加しており、今回のアップデートにより、更に多くの患者さんにメリットのあるシステムへと進化しました。完成したマップはこれまでのイラスト化されたマップと異なり、実際に目で見たままの写真のような画像で構築されているため、スマートフォンに表示される画像と自分が見ている景色を合わせることで場所の把握が可能です。また、売店、自動販売機、車いす対応トイレの場所など、必要な施設と場所を検索できるため、初めて来院する患者さんに対しても迷いにくく分かりやすいシステムとなっています。

今後は、更に空間に掲載する情報を増やし、患者さんがより快適に病院を利用できるように貢献していきます。



歯学部棟 1～3 階



医科診療棟 1～3 階

■研究資金

本研究は、「公益財団法人 橋本財団 2023 年度 福祉助成」「令和 5 年度 岡山大学 令和 5 年度 研究拠点形成支援事業」の支援を受けて実施しました。

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域（医）
医療情報化診療支援技術開発講座准教授
長谷井 嬢
（電話番号）086-235-7273



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。